

NIPPURA
CORPORATE PROFILE



魚とヒトで奏でる協奏曲

水の中に棲む生物と、空気の中に住むヒト。

お互いがもっともっと近づけるような環境を私たちは作りたいと思っています。

アクリルパネルが作り出す水生生物とヒトのコミュニケーションは始まったばかりです。



大切なモノ？



そうです。日プラは**ヒト**が創る
夢や希望を大切に育んでいます。



日プラが製作しているのは、アクリルパネルと呼ばれる透明な板です。
この透明な板を重ねたり、曲げたり、接合したり、自在に加工することで、
巨大な水槽用パネルや複雑な形の水槽を作り上げます。
世界一巨大な水槽や、今までにない形状の水槽を製作するには、
夢や希望を実現するために夢中になって取組む力「**夢中力**」が大切だと考えています。



ヒトデ？

いえいえ、世界一大きな
アクリルパネルを作る**ヒト**の手です。
(アクアウォール™)



どんなに大きなアクアウォール™も、作業には0.01mm単位の正確性が求められます。

この単位の作業になると機械では対応出来ず、頼れるのは自分の「手」のみ。

全身の神経は限界まで研ぎ澄まされ、その作業は機械をも凌ぐ正確さで進められます。

自らの経験と五感をフル回転させた「**技術力**」でエンジニアは挑みます。

目指すのは技術の「極み」。

樂しい？



はい！日プラの**ヒト**の手はアザラシも
満足な水槽を作ってしまうんです。



動物が面白いと感じる水槽はヒトが見ても面白い…。

今では一般的になってきた行動展示には、

技術力と水生生物の生態を熟知した上の「企画力」で成り立ちます。

水生生物の生態を考え、気持ちを想像し、水槽を作ると、今までに見たことも無い形状に仕上がります。

水生生物もヒトも満足なのが一番大事なことだと日プラは考えています。

あの夏、
私はイルカに恋をした。



いまでもよく覚えている。
はじめて行った水族館で出会った君。
鮮やかな青。流線型の体。
手を伸ばせば触れられそうな気がして、
私はいつまでも君の前を離れられなかった。

NIPPURA Aquarium Solutions

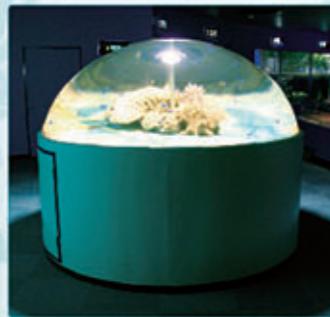
見るだけでなく人と動物が心を通わせられる。
そんな水槽を創り続けることが、私たち日プラの理想です。



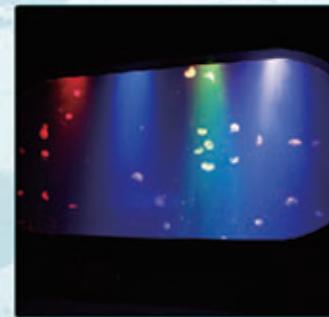
本物の感動を届けたい。 その想いの数だけ、水槽ができました。

イキイキと泳ぐ動物たちの魅力的な姿を、世界中に伝えたい。

そんなことを毎日考え、夢中になって取り組んだら、いつのまにか私たちは、たくさんの水槽を創り出していました。



ドーム型水槽
360度様々な角度から水槽内の世界を楽しめます。



ユニット水槽
水処理濾過システムを水槽内にコンパクトに組み込んだタイプです。



オーバル水槽
飼育が難しいマンボウや回遊魚などの展示に適した形状の水槽です。



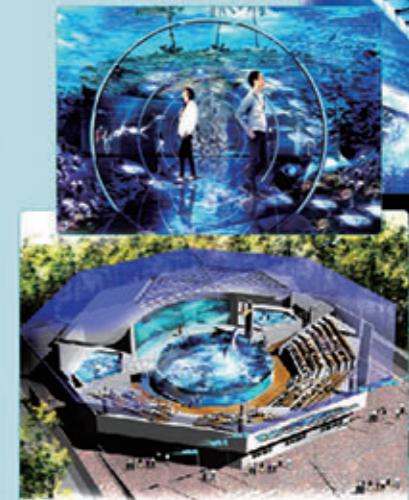
ドーナツ型水槽
アザラシが中をグルグル泳ぐ姿が観察出来る水槽です。



シリンダー水槽
どんな直径の水槽でも柱を使用せず、オールアクリルで製作が可能です。

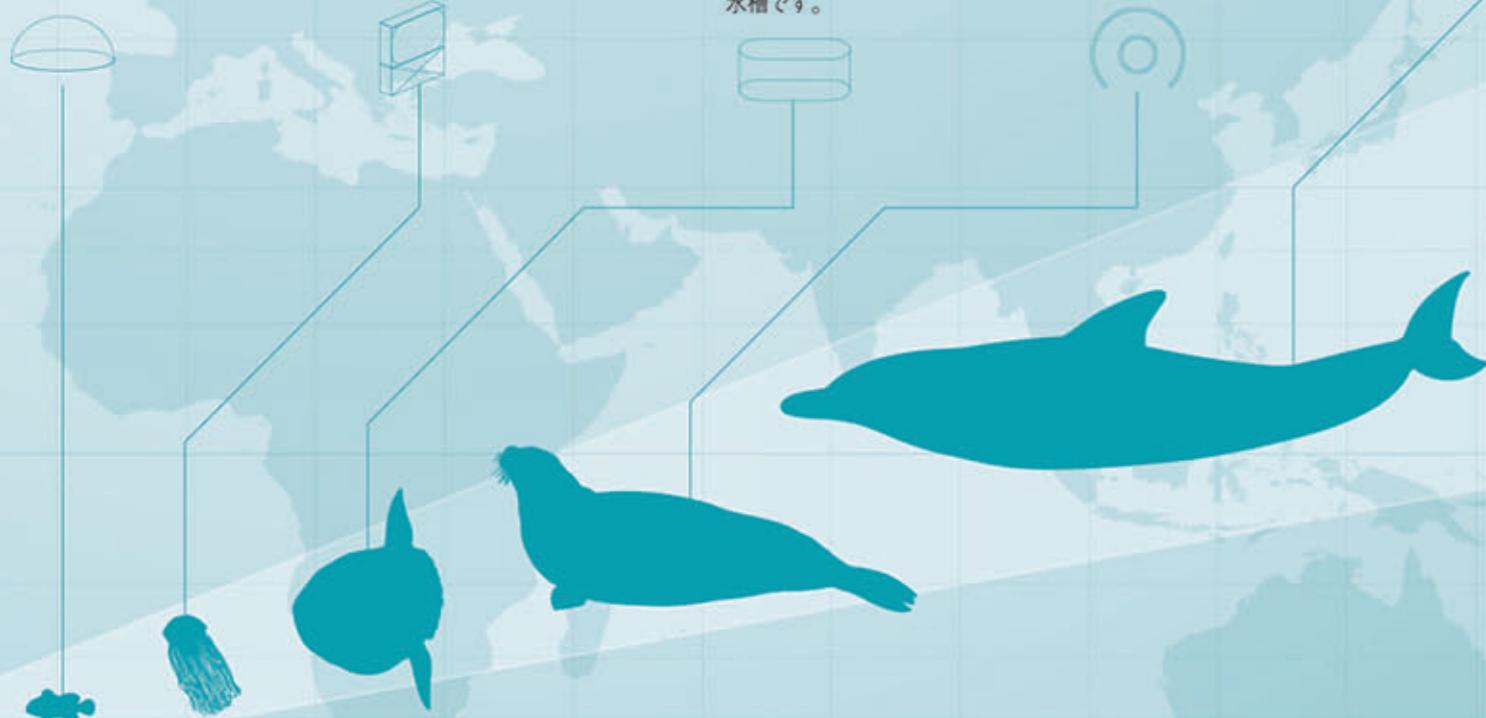


超巨大アクリルパネル水槽
透明度を落とさず何枚ものパネルを貼り合わせる重合接着技術と現場で行うジョイント重合接着技術が超巨大水槽パネル(アクアウォール™)を生み出します。



新しいひらめき

日プラは今まで、数多くの仕事に企画から携わることで、従来にない新しいタイプの水槽を開発してきました。これからも様々な人と出会い、コミュニケーションを深め、たくさんの“新しいひらめき”をカタチにしていきたいと思います。



事業内容

- ・水槽用大型パネル(アクアウォール™)
- ・ライフサポートシステム
- ・躯体防水ライニング工事(スミライニング™)
- ・リアプロジェクションスクリーン(ブルーオーシャン)
- ・水槽展示ディスプレイ
- ・水族館施設企画設計



スミライニング™
日プラのFRP防水ライニング技術は世界中の水族館で実績を積み重ね、その品質と耐久性は幅広く認められています。



水槽展示ディスプレイ
本物の海底を思わせる日プラの水槽展示技術。水生生物の飼育環境や演出効果を考えると共に常に新しい技術を取り入れて製作します。



ライフサポートシステム
水処理濾過設備など、水槽内の動物に良好な環境を保つ為のシステムを、設計から施工まで行います。



ブルーオーシャン
アクリル素材を生かした超高精細リアプロジェクションスクリーン。最大300インチクラスの縦ぎ目の無いスクリーンの製作が可能です。

Case Study

「自分たちにできること」をやるのではなく、
「あつたらいいな」に挑戦する。夢と理想が日プラの原動力です。

Mission 1

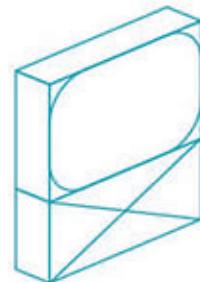
『人々の心を癒す幻想的な展示空間を創ろう。』



Solution

不思議な魅力を宿した「クラゲ水槽」

動物の生態や魅力を最大限に引き出す演出を、日プラは長いキャリアの中で培ってきました。たとえば「クラゲ水槽」。技術的に困難とされてきた継ぎ目ないカラーバネルを製作することで見やすさを追求し、さらには様々な色に光るLEDやヒーリング音楽などの演出によって、単なる展示ではなく癒しとなるような展示空間を目指しました。



ユニットタイプ

Mission 2

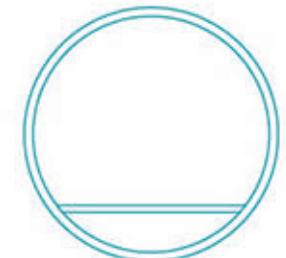
『まるで海の中にいるような、臨場感溢れる空間を創ろう。』



Solution

“水中散歩”を楽しめる「チューブトンネル」

目の前を、頭上を、悠々と泳ぐ海の動物達。まるで海の中を散歩しているかのような感覚を味わえるチューブトンネルは、日プラとクライアントの濃密なコミュニケーションから生まれました。せっかく水族館、動物園に来たのだから、それに見合った感動をおぼえてほしい。そんな両者の熱い想いが重なり、かつてない発想の水槽が完成したのです。



チューブトンネル

Case Study

Mission 3

『遊び心のある水槽で動物のイキイキとした姿を見てもらおう。』



Solution

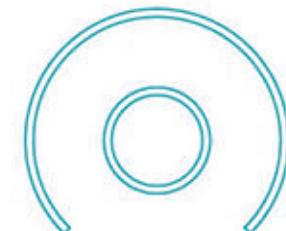
人も動物もワクワクする「ドーナツ型水槽」

見る人をワクワクさせるだけでなく、そこに棲む動物の快適さも両立できないか。

独特な形状のドーナツ型水槽は、限られた空間の中で少しでもアザラシのストレスを

軽減するよう配慮した画期的な水槽です。見る人も楽しい。そこに棲む動物も楽しい。

ふたつの想いを同時に叶えることが、日ブラの使命だと考えています。



ドーナツ型水槽

Mission 4

『圧倒的なスケールで見る人すべてに感動を伝えよう。』



Solution

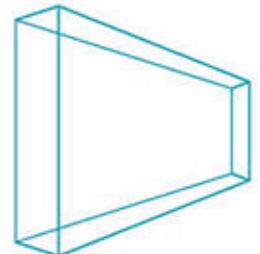
息をのむ別世界が広がる「超大型水槽」

想像を遥かに超える大きな水槽で、見る人すべてを驚かせたい。

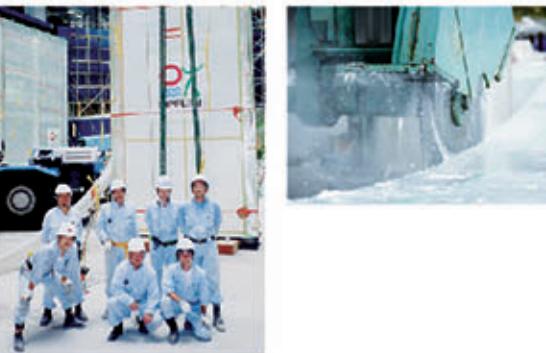
私たちが世界最大級の大型水槽を手がける理由は、そんな子供じみた理由だったりします。

水槽の中を悠然と泳ぐ動物に目を輝かせる子供たちを想像しながら、

私たちはいくつもの技術の壁を乗り越えて、かつてない驚きや感動を創造しています。



超大型水槽



Craftmanship

私たちも工場も施工現場も、
工房だと考えています。

日プラの工場には巨大な機械もなければ、
先進のハイテク機器もありません。
それでも世界に誇る品質を実現しているのは、
熟練した技術を持つ職人たちがいるからです。
たとえばアクリルパネルを磨く作業には
明確な終わりがなく、始まりから完成まで、
すべて職人のこだわりに委ねられています。
接着、成形、研磨、現場接着…。
すべての工程に外科手術のような繊細さが求められる
アクリルパネルづくりに惜しみなく情熱を注ぎ、
私たちならではのオンリーワン・クオリティを
生み出しています。





この気持ちを隔てるものは、なにもない。

日ebraを今まで動かしてきたのは、夢をカタチにする力でした。

どんな困難な壁にぶつかっても、理想を描き、夢中になって乗り越えてきました。

だから、私たちがつくる水槽には夢や好奇心をくすぐる不思議な力が宿っています。

あなたが世界のどこかの水族館に行って水槽の前でワクワクしたり、

ドキドキしたら、それはきっと日ebraが創った水槽です。

会社概要

日プラ株式会社

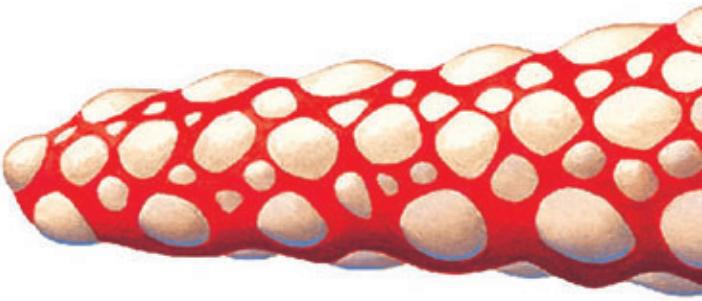
代表者	代表取締役社長 敷山 靖洋	沿革
設立	1969年9月	1969年 日プラ化工株式会社を香川県高松市に設立(資本金 100万円)
資本金	8,000万円	1970年 屋島山上水族館に世界初のアクリル製回遊水槽を納入
主要株主	敷山 靖洋 住友化学株式会社	1974年 海洋設備株式会社を設立
事業内容	水槽用大型アクリルパネル「アクアウォール」の設計・製造・施工 水槽内防水ライニング工事「スミライニング」 映像スクリーン「ブルーオーシャン」の製造・販売 水族館施設等の企画・設計・コンサルタント業務 遮音板製造 防潮堤用アクリルパネル製造	1976年 本社を香川県木田郡牟礼町に移転 1981年 2社を統合し、日プラ海洋設備株式会社となる(資本金 1,000万円) 1982年 海外市場への参入 1989年 志度工場操業開始 1991年 資本金を4,000万円に増資 1993年 北米事務所開設(シアトル) 1995年 資本金を8,000万円に増資 1996年 ソウル事務所開設 事業の拡大と業態の変化に伴い、日プラ株式会社に社名変更 1998年 現地法人 U.S. NIPPURA INC.を設立(ノースカロライナ州) 1999年 U.S. NIPPURA INC.に業務移管の為、北米事務所閉鎖 2001年 本社及び本社工場を現住所に新築移転 2002年 本社に業務移管の為、ソウル事務所閉鎖 2003年 本社 ブルーオーシャン ショールーム増築 2003年 沖縄美ら海水族館においてW22.5m × H8.2m × 60cm、重さ135tの1枚パネルを完成。ギネス認定を受ける 2004年 沖縄工場操業開始 2005年 沖縄工場増設 2006年 屋島水族館を買取り、リニューアル運営開始 2008年 ザドバイモールにおいてW33m × H8.3m × 75cm、重さ250tの1枚パネルを完成。ギネス更新認定を受ける 2009年 神戸工場操業開始 2014年 中国長隆海洋王国においてW39.6m × H8.3m × 65cm、重さ260tの1枚パネルを完成。ギネス更新認定を受ける φ12mアクリルドームを完成。ギネス認定を受ける 2016年 神戸工場増設
事業所	■本社・本社工場 香川県木田郡三木町井上3800-1 TEL: 087-864-4111 FAX: 087-864-4611 ■志度工場 香川県さぬき市鴨庄4532-28 TEL: 087-895-1306 FAX: 087-895-1316 ■沖縄工場 沖縄県うるま市州崎12-61 TEL: 098-921-2661 FAX: 098-921-2662 ■神戸工場 兵庫県神戸市中央区港島南町4-5-7 TEL: 078-381-9681 FAX: 078-303-3301 ■U.S. NIPPURA INC. 600 Heather Lane Suite HT, Charlotte, NC 28209 USA TEL: +1-704-561-9191 FAX: +1-704-561-9196	

NIPPURA CO.,LTD.
URL www.nippura.com/

U.S. NIPPURA INC.
URL www.usnippura.com/



本社・本社工場



 NIPPURA